

# 第135期 中間報告書

自 平成28年4月1日 → 至 平成28年9月30日



日本冶金工業株式会社  
(<http://www.nyk.co.jp/>)

証券コード 5480



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



日本冶金工業株式会社



代表取締役社長

木村 始

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第135期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国

経済の減速や英国のEU離脱問題、米国金融政策等を背景とした円高傾向の進行等に伴い、景気は足踏み状況となりました。

ステンレス特殊鋼業界におきましては、LMEニッケル相場の下落傾向が底を打ち、緩やかな上昇も見られましたが、全般として未だ需要の盛り上がりには欠け、更に円高による輸出環境の悪化も加わり、厳しい事業環境が続きました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、原料価格に見合ったステンレス一般材の販売価格引き上げを打ち出す等、価格の適正化に努めるとともに、引き続き重点分野である高機能材（ステンレス鋼や合金の中でも高耐食性、耐熱性、高強度等、高い機能性を持つ材料）の拡販に努めました。

当第2四半期連結累計期間の販売数量につきましては、前年同期比3.1%減（高機能材11.0%増、ステンレス一般材5.6%減）となり、売上高は535億44百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

一方、当該期間の利益は、高機能材販売数量の回復や連結子会社の業績回復により、経常利益は3億40百万円（前年同期比4億83百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億29百万円（前年同期比7億35百万円増）となりました。

尚、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務体質の健全性を確保する観点から、中間配当を見送らせていただくことといたしました。

今後のステンレス特殊鋼業界につきましては、前述の新興国経済の減速や円高の進行等、取り巻く環境は不透明な

状況が続いておりますが、LMEニッケル相場は安定してきており、需給環境は厳しいながらも底堅く推移すると想定されます。

当社においては、引き続き、ステンレス一般材値上げの市中浸透を図るとともに、高機能材分野においては堅調な環境対策分野の需要等を着実に捕捉し利益確保に努めます。

当社グループにおきましては、最終年度を迎える『中期経営計画2014』に基づく諸施策を着実に実行することにより、財務基盤の更なる強化を図ってまいります。

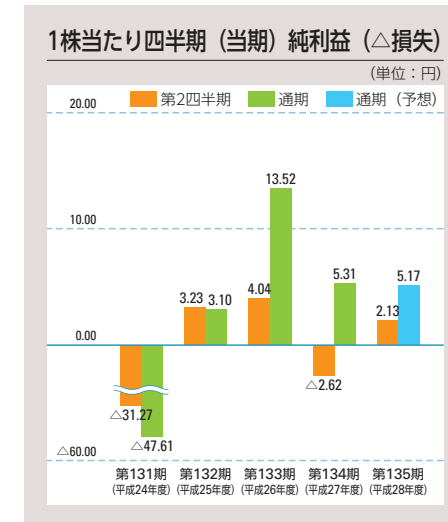
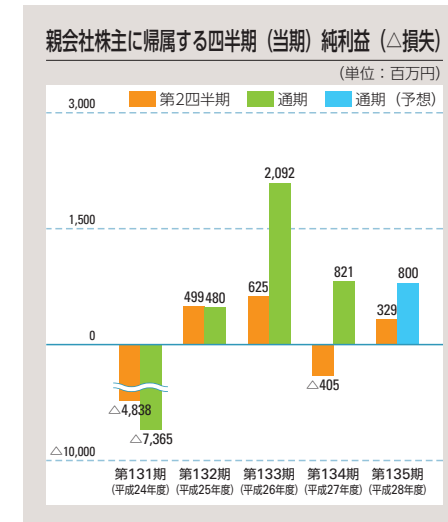
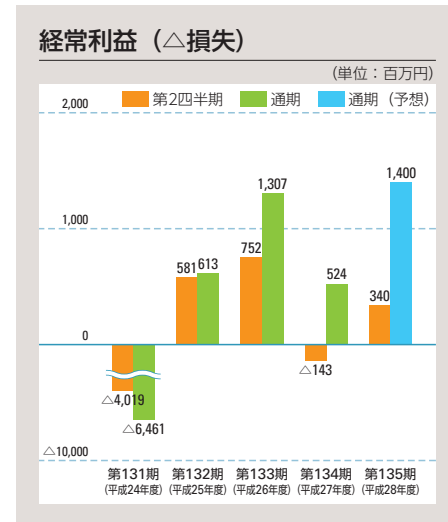
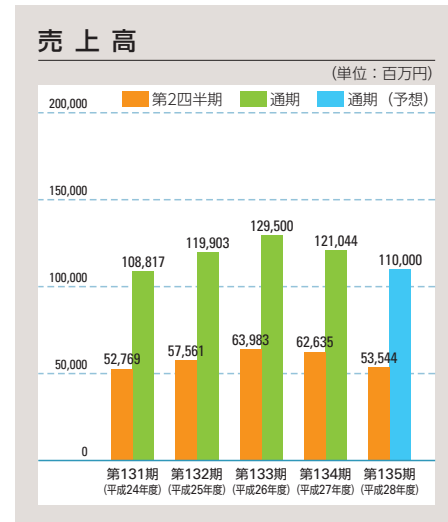
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

連結財務ハイライト

目次

- 株主の皆様へ..... 1
- 事業概況..... 3
- 連結財務諸表..... 5
- 会社の概要..... 7
- 活動報告..... 8
- 製品紹介..... 9
- 株主メモ..... 10



【表記に関する注記】

※ 本中間報告書における収益関連数値につきましては、期初からの「累計値」を用いています。したがって、「第2四半期」と表記されている数値は、当該期における第1四半期(4/1～6/30)と第2四半期(7/1～9/30)との合計値を意味します。

※ 本中間報告書における決算数値につきましては、原則としてそれぞれの数値の百万円未満を四捨五入した上で表記しております。したがって、「売上高」のグラフにつきまして、各期(各年度)の左側(ステンレス鋼板、高機能材、その他)の数値の合計と、右側(国内、輸出)の数値の合計は、本来同一のものでありますが、個別の数値を四捨五入して表記していることから、「合計」値に一部相違が生じる場合があります。また、各財務諸表上も、各科目を加算した値と「合計」値とが、必ずしも一致しない場合があります。

# 事業概況

当社グループの戦略分野である高機能材につきましては、原油相場の先行き不透明感を背景とした石油・ガス関連投資需要の停滞等の影響を受けました。こうした中、競争力強化に向けた技術開発や、戦略的生産活動など多様な取り組みを実施し、排煙脱硫装置などの環境関連向けや、スマートフォン等に使用される有機EL製造向けなどの堅調な市況の需要を着実に捕捉し、前年同期を上回る販売量を確保することができました。

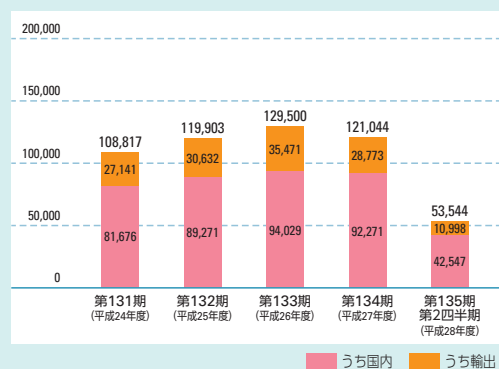
一方、ステンレス一般材につきましては、海外低迷や円高の進行による輸出環境の悪化などが影響し、前年同期と比較し、販売数量の減少を余儀なくされました。

但しLMEニッケル相場の下落傾向が底を打ち、緩やかな上昇も見られるようになる中、原料価格に見合う国内ステンレス一般材の販売価格引き上げを打ち出し、価格の適正化に努めてまいりました。

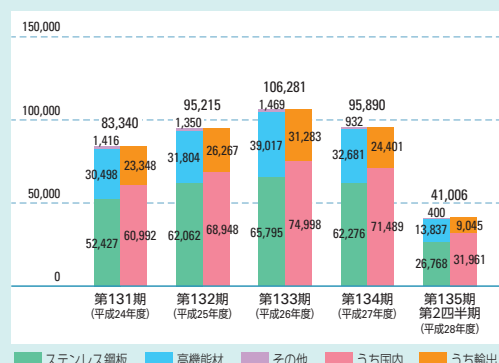
この結果当第2四半期累計の連結売上高は、前年同期比14.5%減少し、535億44百万円となりました。

このうち、国内売上高は425億47百万円、輸出売上高は109億98百万円となっております。(国内：輸出=79.5%：20.5%)

■ 売上高 (連結) (単位：百万円)



■ 売上高 (単体) (単位：百万円)



## 売上高内訳表 (単体)

区分		第134期第2四半期 (A)	第135期第2四半期 (B)	前年同期比 (B/A)
高機能材	販売量 千 t	18.9	21.0	110.97%
	売上高 百万円	16,633	13,837	83.19%
ステンレス鋼板	販売量 千 t	103.5	97.7	94.38%
	売上高 百万円	32,734	26,768	81.78%
その他	売上高 百万円	493	400	81.25%
合計	売上高 百万円	49,860	41,006	82.24%
うち輸出	売上高 百万円	13,858	9,045	65.26%

## 重要な子会社等の状況

### ①子会社

平成28年9月30日現在

会社名	資本金	議決権の所有割合	主要な事業内容
ナストーア株式会社	百万円 100	100.00 %	ステンレス鋼および高機能材の溶接鋼管の製造ならびに販売
ナス鋼帯株式会社	682	100.00	ステンレス磨帯鋼製造ならびに販売
ナス物産株式会社	785	100.00	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
クリーンメタル株式会社	200	100.00	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
ナスクリエート株式会社	90	100.00	ステンレス製品梱包用資材の販売および損害保険代理業
ナスエンジニアリング株式会社	102	100.00	設備設置工事、他エンジニアリング事業
ナステック株式会社	100	100.00	特殊鋼・ステンレス鋼の製造・加工に係わる作業受託業務
宮津海陸運輸株式会社	32	100.00	港湾運送、貨物自動車運送、通関業ならびに加工砂の販売
NAS TOA (THAILAND) CO.,LTD.	千バーツ 220,000	100.00	ステンレス鋼管および加工品の製造販売

(注) 議決権の所有割合には間接所有割合が含まれております。

### ②持分法適用関連会社

会社名	資本金	議決権の所有割合	主要な事業内容
三豊金属株式会社	百万円 20	49.00 %	ステンレス鋼および非鉄金属材料の販売ならびに加工

(注) 議決権の所有割合は間接所有割合です。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前 期 末 平成28年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	50,679	53,860
現金及び預金	4,723	4,900
受取手形及び売掛金	19,249	20,177
商品及び製品	6,356	6,992
仕掛品	14,398	15,934
原材料及び貯蔵品	5,860	5,524
その他	562	871
貸倒引当金	▲ 468	▲ 538
<b>固定資産</b>	80,434	80,866
<b>有形固定資産</b>	74,768	75,179
建物及び構築物	11,277	11,318
機械装置及び運搬具	22,544	22,028
土地	38,680	38,694
その他	2,267	3,139
<b>無形固定資産</b>	1,432	1,555
<b>投資その他の資産</b>	4,234	4,131
投資有価証券	3,386	3,233
その他	870	919
貸倒引当金	▲ 22	▲ 22
<b>繰延資産</b>	65	49
社債発行費	65	49
<b>資産合計</b>	131,178	134,774

POINT

流動資産

主として在庫の削減により、たな卸資産〔商品及び製品〕〔仕掛品〕〔原材料及び貯蔵品〕の合計が前期末比約18億円減少しております。

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前 期 末 平成28年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	57,599	58,311
支払手形及び買掛金	13,930	15,199
短期借入金	25,043	26,093
1年内償還予定の社債	754	600
1年内返済予定の長期借入金	11,894	9,728
賞与引当金	712	716
その他	5,267	5,976
<b>固定負債</b>	39,242	42,313
社債	2,116	1,800
長期借入金	16,934	20,249
退職給付に係る負債	9,591	9,437
環境対策引当金	7	12
金属鉱業等鉱害防止引当金	5	5
その他	10,589	10,811
<b>負債合計</b>	96,841	100,624
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	31,939	31,853
資本金	24,301	24,301
資本剰余金	9,542	9,542
利益剰余金	▲ 1,765	▲ 1,851
自己株式	▲ 139	▲ 139
<b>その他の包括利益累計額</b>	2,393	2,292
その他有価証券評価差額金	635	507
繰延ヘッジ損益	10	1
土地再評価差額金	1,744	1,733
為替換算調整勘定	4	50
<b>非支配株主持分</b>	5	5
<b>純資産合計</b>	34,337	34,150
<b>負債純資産合計</b>	131,178	134,774

(注記)

保証債務額	3	6
受取手形割引高	2,289	2,408
受取手形譲渡高	325	478

POINT

純資産

当第2四半期末における自己資本比率は26.2%となりました。

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 自 平成28年4月 1 日 至 平成28年9月30日	前第2四半期 自 平成27年4月 1 日 至 平成27年9月30日
<b>売上高</b>	53,544	62,635
売上原価	47,783	57,198
<b>売上総利益</b>	5,761	5,436
販売費及び一般管理費	4,802	4,900
<b>営業利益</b>	959	536
営業外収益	153	214
受取配当金	46	50
固定資産賃貸料	50	48
為替差益	-	59
その他	57	57
営業外費用	772	893
支払利息	542	622
為替差損	14	-
その他	216	272
<b>経常利益又は経常損失(▲)</b>	340	▲ 143
特別利益	2	9
特別損失	-	209
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(▲)	342	▲ 343
法人税等	13	63
四半期純利益又は四半期純損失(▲)	329	▲ 405
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(▲)	0	▲ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(▲)	329	▲ 405

(注記)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(▲)	2.13円	△2.62円
-----------------------------	-------	--------

POINT

売上高

販売価格の適正化に努めるとともに戦略分野である高機能材の拡販に努めました。一般材については円高による輸出環境の悪化等により数量減少となったものの、高機能材については数量増加を果たしました。この結果、当第2四半期の売上高は前年同期比約91億円の減収となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 自 平成28年4月 1 日 至 平成28年9月30日	前第2四半期 自 平成27年4月 1 日 至 平成27年9月30日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	3,706	2,916
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(▲)	342	▲ 343
減価償却費	1,911	1,772
退職給付に係る負債の増減額(▲は減少)	154	151
受取利息及び受取配当金	▲ 47	▲ 51
支払利息	542	622
売上債権の増減額(▲は増加)	928	733
たな卸資産の増減額(▲は増加)	1,837	2,313
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲ 1,268	▲ 1,647
その他	▲ 90	▲ 62
小計	4,310	3,488
利息及び配当金の受取額	55	51
利息の支払額	▲ 540	▲ 638
法人税等の支払額又は還付額(▲は支払)	▲ 119	15
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	▲ 1,647	▲ 1,491
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 1,640	▲ 1,544
その他	▲ 7	53
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	▲ 2,216	▲ 580
短期借入金による純増減額(▲は減少)	▲ 990	1,227
長期借入れによる収入	3,927	3,825
長期借入金の返済による支出	▲ 5,077	▲ 5,486
その他	▲ 76	▲ 146
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 52	▲ 83
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲ 210	761
現金及び現金同等物の期首残高	4,830	4,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,620	5,741

POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー

主として販売収益の改善により、営業活動によるキャッシュ・フローの合計額が前年同期比約8億円改善しました。



取締役および監査役

平成28年9月30日現在

代表取締役社長	木村 始
代表取締役	久保田 尚志
取締役	大田 富貴
取締役	堀内 晃彦
取締役	岡田 和彦
取締役	道林 孝司
常勤監査役	前田 博美
常勤監査役	岸田 守彦
監査役	岸木 雅彦
監査役	佐野 鋲一

(ご参考)  
取締役のうち、岡田和彦および道林孝司の2氏は社外取締役であります。また、監査役のうち、岸田守、岸木雅彦、および佐野鋲一の3氏は社外監査役であります。

執行役員

平成28年9月30日現在

執行役員社長	木村 始
専務執行役員	久保田 尚志
常務執行役員	大田 富貴
常務執行役員	堀内 晃彦
常務執行役員	野田 真人
常務執行役員	王 昆
執行役員	小林 靖彦
執行役員	木内 康裕
執行役員	佐々木 秀一
執行役員	小林 伸互

会計監査人

平成28年9月30日現在

八重洲監査法人

国内拠点

平成28年9月30日現在

本社	東京都中央区京橋一丁目5番8号 (三栄ビル) (☎104-8365) 電話 (03) 3272-1511
大阪支店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 (興銀ビル) (☎541-0043) 電話 (06) 6222-5411
名古屋支店	名古屋市中区栄町二丁目3番6号 (NBF名古屋小路ビル) (☎460-0008) 電話 (052) 211-1102
九州支店	福岡市中央区天神一丁目15番6号 (綾杉ビル) (☎810-0001) 電話 (092) 722-4170
広島支店	広島市中区紙屋町二丁目1番22号 (広島興銀ビル) (☎730-0031) 電話 (082) 243-0039
新潟支店	新潟市中央区東大通一丁目2番25号 (北越第一ビル) (☎950-0087) 電話 (025) 247-9261
川崎製造所	川崎市川崎区小島町4番2号 (☎210-8558) 電話 (044) 271-3012
大江山製造所	京都府宮津市字須津413番地 (☎629-2251) 電話 (0772) 46-3121

海外現地法人

平成28年9月30日現在

NIPPON YAKIN AMERICA, INC. (シカゴ現地法人)	5600 N River Road Suite 800, Rosemont, Illinois 60018, U.S.A. TEL: +1 (847) 685-6644 FAX: +1 (847) 292-4404
日邦冶金商貿 (上海) 有限公司 (上海現地法人)	Rm.1018, Shanghai International Trade Centre, 2201 Yan An Road(W), Shanghai, China TEL: +86 (21) 5239-2670 FAX: +86 (21) 5239-2679
NIPPON YAKIN EUROPE LIMITED (ロンドン現地法人)	72 Hammersmith Road, London, W14 8TH, United Kingdom TEL: +44 (20) 7858-0948 FAX: +44 (870) 928-9968
NIPPON YAKIN ASIA PTE. LTD. (シンガポール現地法人)	10 Anson Road, #31-09 International Plaza, Singapore 079903 TEL: +65-6226-2376 FAX: +65-6226-3426

国内展示会へのポルカプレート出展

当社は2016年4月6日～8日、東京ビッグサイトにおいて開催された第3回高機能金属展（メタルジャパン）の一般社団法人特殊鋼倶楽部ブースに、ステンレス床用鋼板「ポルカプレート」を出展しました。

この展示会には高機能金属の素材・加工メーカーや商社など約170社が出展しており、新しいアイデアを求めている機械・電機メーカーの開発担当の方などと交流する場となりました。

当社の展示としては、カタログやパンフレットの他、ポルカプレートとチェッカープレートの清掃性の比較ができるよう、カラフルな砂と刷毛を用意して掃除の実演をおこないました。清掃性の比較実験は効果バツグンで、見ていただいた皆さんに興味をもっていただくことができました。滑りにくく、掃除しやすいポルカプレートは、すでに多くの食品工場や化学・医薬品工場などで採用され、安全管



特殊鋼倶楽部ブース

理や品質向上に役立っています。

今回の展示会は総称を高機能素材ワールドと言い、金属以外にも高機能フィルムやプラスチックなどの展示会が同時開催され、来場者数は合計約6万名というかなり大規模なものでした。

今後もポルカプレートをはじめ当社の素晴らしい高機能材のPRと顧客開拓のため、国内外での展示会への出展を続けていく予定です。

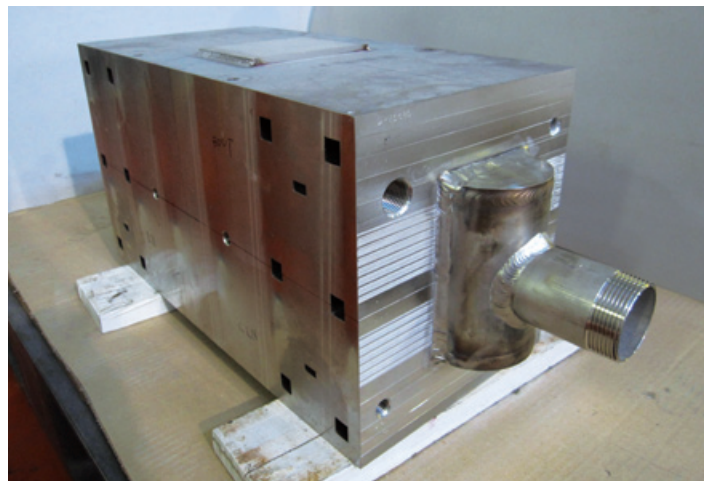


ポルカプレートの展示

## 水素ステーション用コンパクト熱交換器

近年、クリーンエネルギーの水素で走る燃料電池自動車に注目が集まっており、燃料である水素を供給する水素ステーションの整備も進められています。一般的に、ステンレス鋼などが水素環境にさらされると水素脆化（水素が侵入し金属を脆くする現象）を生じることが知られております。そのため、水素ステーションに使用するステンレス鋼は、水素脆化を抑えるために成分調整を行ったSUS316L改良材などの数種類に限られています。本分野向けには当社ではSUS316L改良材を開発し、現在、帯、板を供給しております。

今回ご紹介するのは、水素ステーション用コンパクト熱交換器としての使用例です。水素ステーションでは、主要機器である水素圧縮機やディスペンサー内で水素を目的の温度に冷却するために熱交換器が使用されております。また、水素ステーションがガソリンスタンドに併設されることから熱交換器には小型化も必要とされてきました。本製品は当社のSUS316L改良材を素材とし株式会社神戸製鋼所様にて製造したものであり、コンパクト性にも優れるために採用実績も多く、今後も需要拡大が見込まれるものです。この熱交換器は、ステンレス鋼の新規需要を開拓するとともに、今後の水素社会に貢献する機器であることが評価され、第16回（平成27年度）ステンレス協会賞の最優秀賞を受賞しております（ステンレス協会のホームページ <http://www.jssa.gr.jp/prize/> で紹介されております）。



水素ステーション用コンパクト熱交換器

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ ( <a href="http://www.nyk.co.jp/">http://www.nyk.co.jp/</a> ) いたします。 ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### （ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 【株式に関するお手続きについて】

### 1. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・住所、氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定（※）	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	[お手続き用紙のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a> いずれも24時間受付

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例分配方式はお選びいただけません。

### 2. 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	お問い合わせください。